

## (2) 極小未熟児の early intervention

研究協力者	松石豊次郎			
共同研究者	石橋紳作	山下裕史朗	西見寿博	
	中島沙由理	栗谷典量	大谷靖世	
	福田清一	橋本武夫	丸岡隆之	
	川尻芳枝	向笠章子	染原千恵子	
	中島康浩	東宏	原淳二	
	幼研職員一同			

early intervention program は10名において2歳より開始した。厚生省前川班作製の2歳時発達チェック表、新版K式発達テスト、お母さんの育児についての調査（前川班作製）、などを行いフォローアップ中である。

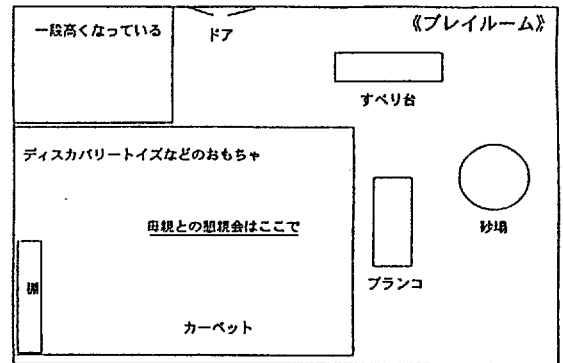
### early intervention の評価方法

厳密なコントロールを設定し研究班作製の(A) 2歳時チェックリスト(B) 新版K式(C) お母さんの育児についての調査(D) 発育に関する親の意識のアンケート調査などで総合評価する。

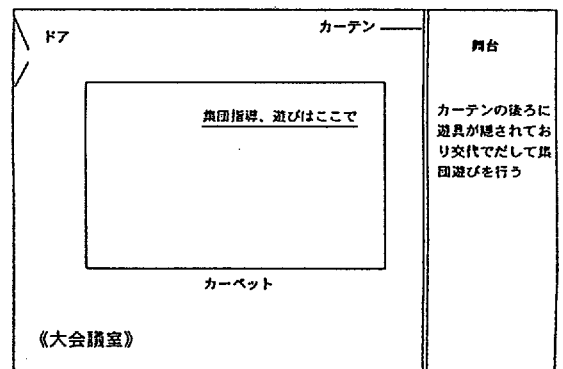
1. 対象：聖マリア病院新生児センターを退院した児で、修正年齢2歳0カ月から2歳5カ月までの9名。内訳は超未熟児3名、極小未熟児6名、未熟児の希望者が1名あり参加してもらっているが、対象からは外している。
2. 実施日：原則として毎月第一水曜日午後に行う。平成5年10月6日より開始。
3. 場所：久留米幼児教育研究所、大会議室及びプレイルーム
4. 遊具：ディスカバリー Toys及び幼児教育研究所のセット遊具を使用する。
5. 参加スタッフ：幼児教育研究所 保母 職員  
聖マリア病院 保母 看護婦 医師  
久留米大学病院 医師
6. 日程：午後1時半から2時まで受付。  
2時10分より集団指導。  
3時から母親とスタッフで懇親会、育児相談などを行う。その間子供達は自由遊びとする。
7. コントロール：聖マリア病院を退院した極小未熟児7名。
8. 進行状況：参加人数は第1回7名、第2回6名、第3回9名、第4回4名。回を重ねるに連れ、子供たちが母親から離れて遊ぶようになり集団指導においても積極性が増してきている。また母親間の横のつながりもみられるようになって。アレルギーや体重ののびなどに関した母親からの問題提起も多い。

5. 参加スタッフ：幼児教育研究所 保母、職員  
聖マリア病院 保母、看護婦、医師  
久留米大学小児科 医師
6. 日程：午後1時半から2時まで受け付け。2時10分より集団指導。3時から母親とスタッフとで懇談会、育児相談などを行う。その間、子供たちは自由遊びとする。
7. コントロール：聖マリア病院を退院した極小未熟児7名。
8. 進行状況：参加人員は第1回7名、第2回6名、第3回9名、第4回4名。回を重ねるに連れ、子供たちが母親から離れて遊ぶようになり集団指導においても積極性が増してきている。また母親間の横のつながりもみられるようになった。アレルギーや体重ののびなどに関した母親からの問題提起も多い。

### 久留米幼児教育研究所



12m×7.5m



12.75m×9.5m

### Teeny Angel

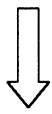
久留米大学小児科 early intervention

1. 対象：聖マリア病院新生児センターを退院した児で、修正年齢2歳0カ月から2歳5カ月までの9名。内訳は超未熟児3名、極小未熟児6名。未熟児の希望者が1名あり参加してもらっているが、対象からは外している。
2. 実施日：原則として毎月第一水曜日午後に行う。平成5年10月6日より開始。
3. 場所：久留米幼児教育研究所、大会議室及びプレイルーム（表3）
4. 遊具：ディスカバリー Toys及び幼児教育研究所のセット遊具を使用する。

久留米大学小児科 (Kurume University)  
久留米大学小児科情報処理部 (Kurume University)  
聖マリア病院新生児科  
聖マリア病院心理療法科  
久留米市幼児教育研究所



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



early intervention program は 10 名において 2 歳より開始した。厚生省前川班作製の 2 歳時発達チェック表、新版 K 式発達テスト、お母さんの育児についての調査(前川班作製)、などを行いフォローアップ中である。